

農業行政について



岡野 忠 議員



**質問**… 令和8年産の米づくり作付転換について伺います。

**答弁**… 令和8年産米については、米価暴落対策として大田原市農業再生協議会において水田収益力強化ビジョンを改正し、主食用米からの転換が容易な加工米を新たに市独自で設定する交付金の加算対象品目に追加し、主食用米からの作付転換を推進します。

**質問**… 有機農業の取組の現状について伺います。

**答弁**… 本市の令和6年度の有機農業の取組面積は、112・1ヘクタールで、取組農家数は21件となっています。取組面積は県内第1位であり、全国でも上位に入る有機農業が盛んな地域であります。取組面積、取組農家数ともに、ここ数年横ばいで推移しています。令和6年2

月に大田原市有機農業推進協議会を設立し、有機農業の推進と有機農産物の普及啓発の取組を行っています。

**質問**… オーガニックビレッジ宣言について伺います。

**答弁**… 学校給食への有機米提供やオーガニックマルシェの開催など、宣言のために必要となる有機農業実施計画の策定を進めています。

一般質問



大塚 正義 議員



市の道路行政について

**質問**… 旧黒羽刑務所より南に延びる国道294号線合流までの約2・4キロ区間の市道松木沢鍋掛線のアスファルト打ち替え道路補修計画の予定を伺います。

**答弁**… 令和6年度に実施した路面性状調査において損傷が激しく修繕が必要との結果を得たことから、国の交付金を活用し、舗装修繕を行うこととしており、令和9年度からの舗装修繕工事

の実施に向け準備しているところで。1年で全ては終わらないので、複数年に分けた工事を考えています。どういう順序でというのは、今後検討していきます。

**質問**… 路面上のマンホールの段差が約20ミリから30ミリ程の所もあり、スクーター等はタイヤが小さいので、その端に乗りあげてしまうと転倒してしまう可

能性があります。また、車等もバーストをしてしまう状態です。できれば2か年計画程度で完了できないか伺います。

**答弁**… できるだけ短期間ですべてと思っています。マンホールの段差については、緊急に危険を要する状況であれば、すりつけの補修等を入れて、安全管理に努めていきたいと思っています。